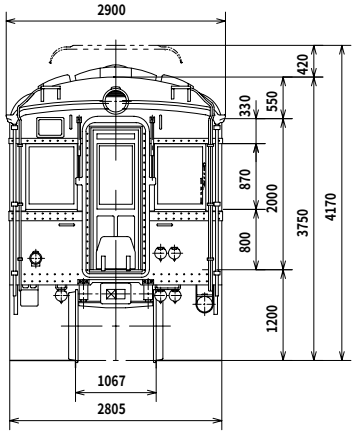
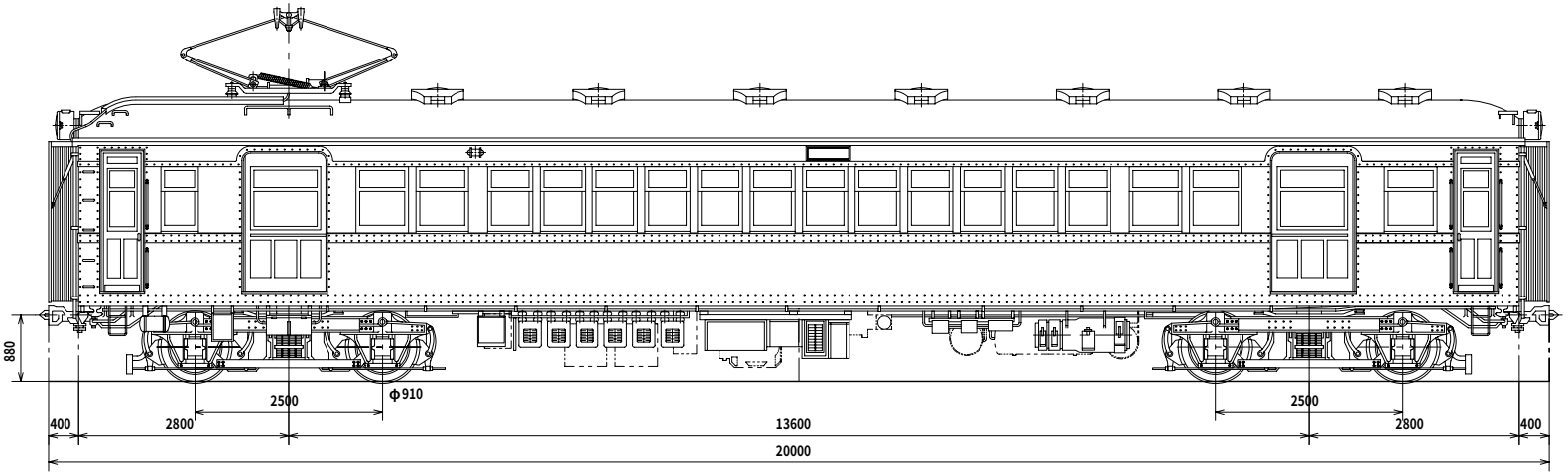
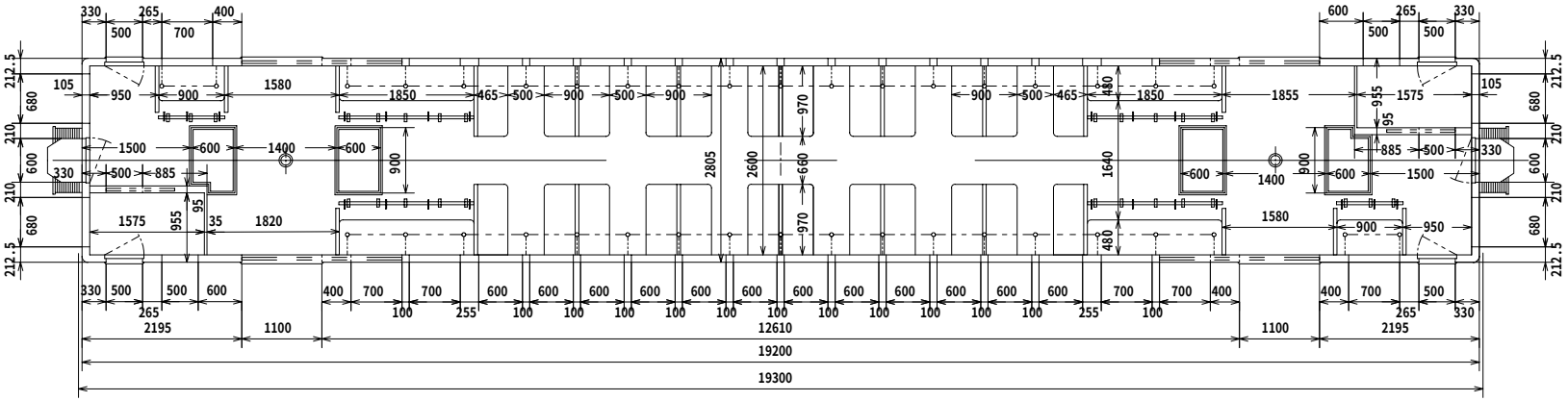
国鉄　モハ42型　形式図

1934年に長距離用として関西に登場した電車
初期の20m級国電の一つで、同系列に片運転台のモハ43やクハ58、クロハ59、サロハ46などがあり、
これらは戦前の関西国電の主力といってよい
台車はTR25(DT12)で、トレーラー用のTR23と共に標準型として多用されたもの
13輌製造され、図は製造当時の姿、
ヘッドライトの位置に注目
後半半数が4扉化、3扉化されている